

卓 話

『ポリオ募金にご協力を』



卓話：ポリオ・プラス次期委員長
故金 正司

皆様こんにちは、中RC故金でございます。
顔見知りのお方が多く自分のクラブの例会に参加しているようでとても嬉しく思います。
次年度7月よりポリオ小委員長をさせて頂くことになりました。地区で実施したい重要事項は下記の通りです。ご協力のほど宜しくお願い致します。

1. ポリオについての情報発信としてポリオを各クラブに再啓蒙する
 - (1) 月信などで国内、世界の情報を発信する。
 - (2) 地区委員会は各クラブの委員長との交流を深める。
2. 募金活動の実施
 - (1) 各クラブへの活動協力の発信・・・祭事、記念行事などを活用
 - (2) この募金活動を通じてロータリーの公共イメージを高め会員増強につなげる。
 - (3) 募金箱を各クラブに設置させて頂く。
 - (4) 世界のポリオデーに参加する。
3. ポリオ・プログラム（1985年開始）の土台を充分に活用する。



会員の皆様に少しでもポリオの実情をお知り頂き社会奉仕活動をご一緒に共有していきたいと思っております。

ポリオウイルスは口から入り腸管で増殖、人にだけ感染をおこします。発展途上国などでは便所、水道などの設備がほとんどなく雨期などでは糞便などによる飲料水、食品が汚染され感染が広がっていきます。アフガニスタン、パキстанは民族の習慣や宗教的な諸事情より終息が確認されていません。ロータリーの友の情報から現在99.9%の終息が確認されています。1988年よりビルゲイツ財団、WHO、国際ロータリーが本格的な撲滅運動に参加、世界120万のロータリアンはこれまでに13億ドル以上の活動費を寄付、125か国の25億人以上の人々に予防接種を行った。

以上簡単ではありますが勉強中の知識を皆様に少しだけご披露させて頂きました。

それからもう一言、ポリオの募金の発端は1982年日本のロータリアン山田氏から発案され1985年より国際ロータリーの支援が始まりました。

写真の提供はPGの竹腰様より2017年1月27日インド訪問時の場面です。

今後共宜しくお願い致します。